

V 学校研究

<学校研究全体計画>

1 研究主題

児童が主体的に学び、目標達成する授業へ

～考えを広げ深めるための個別最適×協働的～

2 主題設定の理由

本校は、【「志」をたて、主体的・協働的に学ぶ心豊かな児童の育成】という教育目標のもと、③「ふるさとを愛する子」、④「くじけず学び体をきたえる子」、⑤「思いを伝え合い、認め合える子」、⑥「考えて行動し次にいかす子」をめざす児童の姿とし、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成をめざしている。

3年前から研究教科を算数とし、研究推進を行っている。

1年目は、クラスの学びに向かう意識作りに取り組んだ。モデルとなる授業を全校で視聴し授業のイメージを持たせ、自分たちでよりよい授業を作ろうという意欲を高めた。また、定期的に、自分の学びを振り返り、成長を自覚できるようにした。その成果として、授業に前向きに参加する児童は増えた。その一方で、日々の授業や児童アンケートから、自分の考えを表現することに課題のある児童が多いことが分かった。

2年目は、児童の意欲や授業の土台となる部分を大切にしつつ、必要な情報を正確に読み取り、自分の考えを過不足なく、図や式や言葉で表現できる児童の育成に努めた。目指す児童の姿を具体的にイメージし公開授業に臨むことで、授業改善にもつながった。児童アンケートでは、図・式・言葉で表現できたと答えた割合が73%→82%に増え、教師も児童も図・式・言葉で表現しようという意識が高まったが、学力差によって表現できる児童が固定化している傾向がある。

3年目は、ICTをさらに活用し個別最適化を図りつつ、協働的に学びあい全員が目標を達成できる授業を目指した。主体的に授業に参加し助け合い、高まろうとする姿が見られるようになった。しかし、助け合いや教え合いは活発になったものの、一人一人の児童の思考は高まったと言えるか、活用力が付いたかという点、まだまだである。

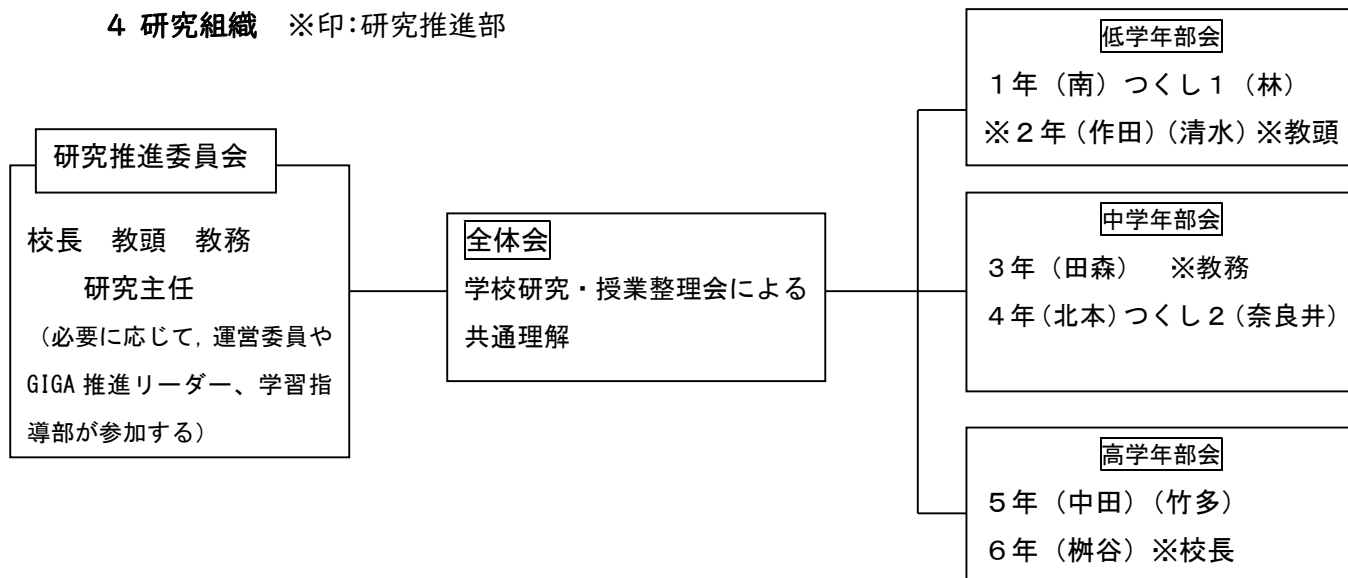
そこで、4年目は、一人一人が主体的に学び、思考を広げ深め、目標を達成できる授業を目指す。単元計画の段階で、どこで指導内容を押さえ、どこで児童に委ね思考力を育むのかを見極める。

本研究を通して、児童一人一人が学びの深まり、広がりを実感し、明日へと向かう活力の創造につながることを目指し、また、教師相互の学びを深め授業力向上を目指したい。

3 研究の内容と【^{プラス}学びの12か条+】との関連

- 考えを広げ、深め合う場面での数学的活動の充実 【学びの12か条+③④⑥】
- 適切な目標設定と学びの自覚化につながるふりかえりの充 【学びの12か条+②】

4 研究組織 ※印:研究推進部



5 研究計画

月	主な内容	
4	◆校内研 〈研究概要・年間計画・各種取り組み内容の共通理解〉	
5	◆校内研 5月15日(金) 金沢大学教員派遣 ・目指す授業の共有(1学期)	・提案リレー授業① (2年)
6	・要請訪問	・研究授業(年)
7	・授業整理会	・リレー公開授業②
8	◆校内研〈1学期のふりかえりと2学期に向けて〉 ◆校内研〈学級活動の授業のあり方を学ぶ〉 ◆校内研〈授業力向上 算数〉	
9	・授業整理会	・リレー公開授業③
10	・授業整理会	・リレー公開授業④
11	・計画訪問	・リレー公開授業⑤
12	・授業整理会 ◆校内研〈2学期のふりかえりと3学期に向けて〉	・リレー公開授業⑥
1		
2	◆校内研〈研究のふりかえりと次年度に向けて〉	
3		